

建設コープおおさか

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1-8-9
http://www.kensetu-co-op.com 電話:06-6533-1675



1月の行事報告

- ・1月理事会は開催されませんでした。
- ・家賃支援給付金の申請後、
入金がありました。

「大阪府からのお願い」

新型コロナウイルス感染症拡大防止に
向け対応について

大阪府では2月1日に第36回新型コロナウイルス対策本部会議を開催し、国において緊急事態措置を実施すべき期間の延長がなされた場合現在の不要不急の外出・移動自粛の要請について延長をすることし、2月2日国においてその期間が3月7日まで延長されることとなりました。また、イベントに係る人数上限5000人以下かつ収容率50%以下等での開催要請、大阪府全域の飲食店に対する営業時間短縮要請についても3月7日まで延長することが決定されました。

記

<レッドステージ(緊急事態)の対応方針に基づく>

- 期間 令和3年1月14日から3月7日
※ただし、今後、感染状況などを踏まえ、要請期間の短縮も検討
- 要請事項
 - 1.20時以降の不要不急の外出自粛を徹底することを踏まえ、事業の継続に必要な場合を除き、20時以降の勤務を抑制すること
 - 2.「出勤者数の7割削減」をめざすことも含めテレワークをより推進すること
出勤が必要となる職場でも、ローテーション勤務、時差通勤、自転車通勤などの取組みを推進すること

オープン空き家構想

オープン空き家構想とは

(1) 空き家の半数が戸建て空き家

平成30年度住宅・土地統計調査の調査結果によると、大阪府内の空き家数は、約71万戸、空き家率(住宅総数に占める割合)は15.2%と、ともに過去最高を記録した。空き家のうち、賃貸用、売却用等として市場で流通していない空き家は20万9千戸と5年前の調査結果より減少したものの全国で最も多くなっています。そしてそのうち約半数の9万8千戸が戸建ての空き家であり、都市のいたるところに市場で流通していない多くの戸建て空き家が点在している。

(2) 空き家は地域の魅力を低下させる

今後、さらに空き家が増加していくと、地域の活力や魅力の低下につながり、適正な管理が行われていない空き家は、安全・防災・衛生・景観などに悪影響を及ぼし、地域の安全・安心を損なうことにもつながってきます。今後、人口減少が見込まれる中、空き家の発生を抑制するためには、除却すべきものは速やかに除却し、利活用可能なものは早期に流通させることが重要。

(3) 住宅総数を減らすことの重要性

日本では、賃貸も分譲も新築住宅の需要が高い傾向にあり、供給側としても高く取引が出来る可能性の高い新築を多く準備するようになったことから、既存の住宅が余ってしまうという現象が起きている。

新築によって住宅の数を増やすことは空き家対象にとってマイナスであり、空き家をリフォーム・リノベーションなどで再生し住宅として流通させることが重要である。しかし、世帯数が増えないことを前提にして考えれば、再生した空き家に新たな住人が入居した時点で、その住人の旧家が空き家となるので、空き家数の減少には直結しません。このような空き家を、住宅以外の用途に活用できれば、住宅総数を減らすことにつながり空き家対象として大きな効果が期待できる。



「長寿命化リフォーム」～住まいと暮らしの充実～

I. 減税制度

1. 所得税の控除 (1) 所得の控除には 3 制度がある。

- ① 投資型減税・・・控除率 10% 控除期間 1 年間
- ② ローン型減税 (償還期間 5 年間以上)・・・控除率 2%、1% 控除期間 5 年間
- ③ 住宅ローン減税 (償還期間 10 年以上)・・・控除率 1% 控除期間 10 年間

1. 所得税の控除 (2)

- ① 投資型減税・・・ 控除期間 1 年 改修工事を完了した日の属する年分
最大控除額 20 万円(バリアフリーリフォーム)
25 万円(耐震・省エネ・同居対応・長期優良住宅リフォーム)/35 万円/50 万円
- ② ローン型減税・・・ 控除期間 改修後、居住を開始した年から 5 年間
最大控除額 62.5 万円 (12.5 万円/年×5 年間)
1 年間の控除額 = (イ) ①、②のいずれか少ない額×2%
 - ① 対象となる改修工事費用 - 補助金等
 - ② 控除対象限度額 250 万円+ (ロ) (イ) 以外の改修工事費用担当分に年末ローン残高×1%
- ③ 住宅ローン減税・・・控除期間 改修後、居住を開始した年から 10 年
最大控除額 400 万円 (40 万円/年×10 年間)
1 年間の控除額改修工事費用相当分の年末ローン残高 - 補助金等×1%



【編集後記】

今の時期は花粉症で悩んでいる方は多いのでは？それまで、花粉症という言葉は聞いてはいたけど

私にはそれらしい症状がないので安心していました。がしかし、2～3年前よりPM2.5のアレルギーになってしまった。それも突然、鼻血が・・・？その時から頻繁に・・・。

耳鼻咽喉科診断の結果PM2.5アレルギーと言われ、マスクは必ずする事と。

その後、咳、皮膚のトラブル、顔の腫れ、毛髪のかゆみなどあらゆる症状が出て、アレルギー専門の皮膚科で全種類のアレルギー検査を受けたところ検査結果は、どれも該当しなかった。(PM2.5以外)

現時点、薬はないと・・・。これから先は自分で防ぐしかないことを知り、常にマスクの常用と飛散が多い時の外出は全身すっぽり覆いかぶせるものを着用し、外出を控え自宅で

過ごすことが多くなった。偶然にも昨年よりコロナウイルスにより外出自粛の要請にもさほど

気にもならなかったが、ごく普通に人とのコミュニケーションが取れないことの難しさに戸惑うこともあった。

今出来ることはコロナ感染を防ぐことは大事だが、それ以上に必要以上のストレスを溜めないことがアレルギーを和らげる方法かも知れない。

